

共感を得たいときの コミュニケーション

年下 編

たとえばこんなとき…



後輩に業務の難しさを共感してほしいとき



後輩に、自慢にならないよう嬉しい結果を伝え、共感してほしいとき

**相手が「感情的なタイプ」か「論理的なタイプ」か、
2つのタイプによって会話の仕方を変えることがポイント！**

感情的 なタイプ

今からの話は自慢・愚痴であると明言したうえで、自慢したり、愚痴を話したりする

いちばんやってはいけないのは、「自慢話なのに自慢話じゃない体で話すこと」。変にとりつくろわず、ストレートにコミュニケーションをとれば何の問題もないのです。

論理的 なタイプ

この話を聞くと得られる相手のメリットを最初に明示してから話す

「自分には関係ない」というスタンスを相手がとらないように、何らかの形で相手とこれからする話との関連性を明示してコミュニケーションをとるようにしましょう。